

Oracle[®] VM Server for SPARC 3.5.0.2 補 足リリースノート

2018 年 4 月

Oracle VM Server for SPARC 3.5.0.2 補足リリースノート

これらの補足リリースノートには、Oracle VM Server for SPARC 3.5.0.2 保守更新リリースに関する次の情報が記載されています。

- 2 ページの「解決済みの問題」
- 2 ページの「ドキュメントの問題」

サポートされているハードウェア、最小のファームウェアと完全に認定されているファームウェア、Oracle Solaris OS とハードウェアについては、『[Oracle VM Server for SPARC 3.5 インストールガイド](#)』の第1章、「システム要件」を参照してください。

Oracle VM Server for SPARC 3.5 ソフトウェアの問題については、『[Oracle VM Server for SPARC 3.5 リリースノート](#)』を参照してください。

解決済みの問題

25813893	vdsdev の排他的オープンのオプションが Logical Domains Manager によって受け入れられない
27075052	ネットワーク経由でのイメージの操作時に ovmtdeploy が diskio に失敗する
27290924	ovmtdeploy が EFI ラベル付きディスクを認識しない
27382773	空きメモリーがあっても IO ドメインのバインド試行がメモリー不足エラーで失敗する
27547715	ovmtcreate が prtvtoc の出力から必要なディスク容量を正しく計算しない

ドキュメントの問題

ldm(1M) のマニュアルページ: ldm add-vsw の形式が更新されました

vsw-relay-mode プロパティに値を指定する必要があることを示すように、ldm add-vsw コマンドのコマンド行の形式が更新されました。更新されたコマンド行の形式は次のとおりです。

```
ldm add-vsw [-q] [default-vlan-id=VLAN-ID] [pvid=port-VLAN-ID] [vid=VLAN-ID1,VLAN-ID2,...]  
[linkprop=phys-state] [mac-addr=MAC-address] [net-dev=device] [mode=sc] [mtu=size]  
[id=switch-ID] [inter-vnet-link=auto|on|off] [vsw-relay-mode=local|remote] vswitch-name  
domain-name
```

ldm(1M) のマニュアルページ: ldm set-vsw の形式が更新されました

次のプロパティ値の要件を示すように、ldm set-vsw コマンドのコマンド行の形式が更新されました。

- vsw-relay-mode に値を指定する必要があります
- inter-vnet-link の値をリセットできません

- net-dev、mtu、および pvid の値をリセットできます

更新されたコマンド行の形式は次のとおりです。

```
ldm set-vsw [-q] [pvid=[port-VLAN-ID]] [vid=[[+|-]VLAN-ID1,VLAN-ID2,...]] [mac-addr=MAC-address]
[net-dev=[device]] [linkprop=[phys-state]] [mode=[sc]] [mtu=[size]]
[inter-vnet-link=auto|on|off] [vsw-relay-mode=local|remote] vswitch-name
```

ldm(1M) のマニュアルページ: ldm add-vnet の形式が更新されました

custom プロパティに値を指定する必要があることを示すように、ldm add-vnet コマンドのコマンド行の形式が更新されました。更新されたコマンド行の形式は次のとおりです。

```
ldm add-vnet [mac-addr=MAC-address] [pvid=port-VLAN-ID] [pvlan=secondary-vid, pvlan-type]
[protection=protection-type[, protection-type], ...] [auto-alt-mac-addr=num]
[custom=enable|disable] [custom/max-vlans=num] [custom/max-mac-addr=num]
[allowed-ips=IP-address[, IP-address]...] [priority=high|medium|low] [cos=0-7]
[allowed-dhcp-cids=[MAC-address|hostname, MAC-address|hostname, ...]]
[alt-mac-addr=auto|MAC-address[, auto|MAC-address, ...]] [vid=VLAN-ID1,VLAN-ID2,...]
[linkprop=phys-state] [id=network-ID] [mtu=size] [maxbw=value] if-name vswitch-name
domain-name
```

ldm(1M) のマニュアルページ: ldm set-vnet の形式が更新されました

次のプロパティ値の要件を示すように、ldm set-vnet コマンドのコマンド行の形式が更新されました。

- custom に値を指定する必要があります
- mtu および pvid の値をリセットできます

更新されたコマンド行の形式は次のとおりです。

```
ldm set-vnet [mac-addr=MAC-address] [vswitch=vswitch-name] [mode=] [pvid=[port-VLAN-ID]]
[pvlan=[secondary-vid, pvlan-type]] [protection=[[+|-]protection-type[, protection-type], ...]]
[allowed-ips=[[+|-]IP-address[, IP-address]...]] [priority=high|medium|low] [cos=0-7]
[allowed-dhcp-cids=[[+|-]MAC-address|hostname, MAC-address|hostname, ...]]
[alt-mac-addr=[[+|-]auto|MAC-address[, auto|MAC-address, ...]]] [linkprop=[phys-state]]
[mtu=[size]] [vid=[[+|-]VLAN-ID1,VLAN-ID2,...]] [auto-alt-mac-addr=[+]num]
[custom=enable|disable] [custom/max-vlans=[num]] [custom/max-mac-addr=[num]]
[maxbw=[value]] if-name domain-name
```


Part No: E95858-01

Copyright © 2007, 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクルまでご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT END USERS: Oracle programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, delivered to U.S. Government end users are "commercial computer software" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, shall be subject to license terms and license restrictions applicable to the programs. No other rights are granted to the U.S. Government.

このソフトウェアまたはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアまたはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション(人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む)への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する際、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性(redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したことに起因して損害が発生しても、Oracle Corporationおよびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

OracleおよびJavaはオラクル およびその関連会社の登録商標です。その他の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

Intel、Intel Xeonは、Intel Corporationの商標または登録商標です。すべてのSPARCの商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc.の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMDロゴ、AMD Opteronロゴは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標または登録商標です。UNIXは、The Open Groupの登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。適用されるお客様とOracle Corporationとの間の契約に別段の定めがある場合を除いて、Oracle Corporationおよびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。適用されるお客様とOracle Corporationとの間の契約に定めがある場合を除いて、Oracle Corporationおよびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。

ドキュメントのアクセシビリティについて

オラクルのアクセシビリティについての詳細情報は、Oracle Accessibility ProgramのWeb サイト(<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=docacc>)を参照してください。

Oracle Supportへのアクセス

サポートをご契約のお客様には、My Oracle Supportを通して電子支援サービスを提供しています。詳細情報は(<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=info>) か、聴覚に障害のあるお客様は (<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=trs>)を参照してください。

Part No: E95858-01

Copyright © 2007, 2018, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.